

或は船路に行、又は葬送等に大に悪し、かならず用べからず、

狼藉日は、通書に是を天獄日といふ、天火日と同日にして、三箇の悪日の一つ也、若是を犯し用ゆれば、百事皆散失す、故に萬事に用ゆべからず、

滅門日は三箇の悪日の一つにして、萬事に用ざるの日なり、若是を犯し用ゆる時は、必其家門を滅するの禍有、慎べし、以上曆中三箇の悪日といふ、

四不出日

〔拾芥抄下末諸事吉凶日〕四不出日壬子 戊午 乙卯 辛酉 件日出行必死

〔吾妻鏡三十六〕寛元二年九月十九日丁巳、大殿藤原頼經明春御上洛事爲、但馬前司定員奉行有御沙汰等、日次事、二月一日可有御進發之由、被思召之處爲、四不出日之旨、依有其說、可憚否、被召問維範

晴賢等朝臣、各定申云、四不出日勿論也、但賀家不憚之歟、保憲曆林擇入丙寅丙午、不可有禁忌、二月

九日吉日也、以件日可爲御入洛之期歟、一日御進發有十六日御入洛者、厭對日也、出行可憚之、旁可

被用九日云云、

〔吾妻鏡脫漏〕元仁二年嘉祿元年六月廿六日乙卯、今日渡御可宜之由、一同擇申之、武州北條泰時被仰云、

乙卯四不出日可有其憚歟云云、彼輩申云、四不出日者、出行忌之、今御移徙之也、不可有憚云云、仍治

定畢、

道虛日

〔運步色葉集多〕道虛日六日、十二日、十八日、廿四日、卅日、

〔簠簋內傳二〕道虛日之事、一日、六日、十二日、十八日、廿四日、晦日、

右者出行深凶也

〔拾芥抄下末諸事吉凶日〕道虛日タウコニテ出行加冠嫁娶神事移徙著務忌之

六日 十二日 十八日 二十四日 〇日

〔台記別記〕久安四年十一月廿六日庚戌、使親隆開始御書使、後朝使、供餅露顯等、日於陰陽師、陰陽師